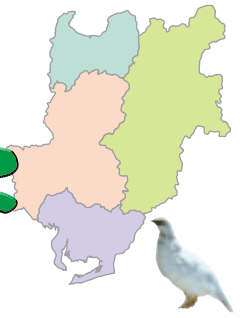




国民の森林・国有林

広報

中部の森林



中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5

☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>



上：木島平村四ノ宮地域森林整備推進協定締結式

下：東白川村新築地域森林整備推進協定締結式

新たに二つの森林整備推進協定を締結



2011・国際森林年

(P2に関連記事)

主な項目

- 森林整備推進協定を締結 P2
- 各種表彰式等を開催 P2~4
- 風景紀行「湯の丸・高峰高原」 P6

森林整備推進協定を締結

民有林と国有林が一体に

「木島平村四ノ宮地域 森林整備推進協定」の締結

【北信署】平成二十四年三月六日、木島平村役場において「木島平村四ノ宮地域森林整備推進協定」が締結されました。

本協定は、民有林と国有林が連携して効率的な作業路網の開設や間伐等の森林整備に取り組みことを目的に、木島村、北信森林管理署、北信州森林組合が北信地方事務所長の立会で締結しました。

協定により設定した森林施業団地は、民有林三三四畝、国有林四六六畝、官行造林五〇畝で総面積八五〇畝。木島平村の森林面積の一角にあたります。

森林整備計画では、協定期間の三年間で一三、〇〇〇ヘクタールの路網を開設し、一六四ヘクタールの間伐と一一、〇〇〇立方メートルの間伐材の搬出を予定しています。

調印後、芳川木島平村長は「今回の協定では、国有林・民有林路網の相互利用による利便性の向上による森林整備を進め、森林の持つ多面的機能を十分に発揮させ豪雨災害の防止につなげたい。」との協定がモデル的となり村内の森林整備が進むことを期待する。」と挨拶されました。

今後、民有林と国有林が一体となった図面の作成等を行い、毎年九月に事業の

進行及び計画等を協議し団地化したメリットが多く出るように取り組んでいきます。

「東白川村新築地域 森林整備推進協定」を締結

【岐阜署】平成二十四年三月二日、東白川村はなのき会館において「東白川村森林整備推進協議会」が開催され、引続き別館ホールで「東白川村森林整備推進協定」が締結されました。



協定締結後あいさつする中岡岐阜署長

この協定は、中部森林管理局長と岐阜県知事との間で締結された、岐阜県における「健全で豊かな森林づくりの推進に関する覚書」に基づく森林整備推進協定の第二号となるものです。

締結式では東白川村、岐阜森林管理署、東白川村森林組合、岐阜県の代表により協定書への署名がなされました。

協定による「新築共同施業団地」は、東白川村新築地域の国有林四〇四畝と私有林九畝及び村有林一六七畝の計五八〇畝余りとなっています。協定期間は平成二十四年四月一日から平成二十九年三月三十一日までの五ヶ年とし、その後は協議により延長できるものとしています。

施業団地内の人工林率も九七割と岐阜県平均の四五割と比べても倍以上と高く、先人たちの努力により森林造成が継続的になされてきています。

協定では、所有界を越えた効率的な路網計画により三、七五〇ヘクタールを整備していくことや三〇九畝余りの利用間伐等の森林整備を実施して、約一三、八〇〇立方メートルの木材生産を予定しています。

この協定の国有林部分はすでに「社会貢献の森」「サントリー天然水の森」「ぎふ東白川」として岐阜森林管理署とサントリーHDとの間で協定を締結していますが、今回、村有林部分についても、同会場において岐阜県が推進する「企業との協働による森林づくり」の制度を利用した、「サントリー『天然水の森』ぎふ東白川」における生きた森林づくり協定も東白川村、サントリーHD、岐阜県との間で締結されました。

これで同地域に三つの協定が締結されたことになり、今後、五者が連携して更

なる森林の持つ多面的機能の持続的発揮とともに、林業事業者の育成・強化、林業・木材産業の活性化、木材資源の有効利用を図り、国民的企業であるサントリーHDによる都市部への情報発信が期待されます。

各種表彰式等を開催

平成二十三年 治山・林道工事 コンクリートの表彰式

【森林整備課・治山課】平成二十三年度治山・林道工事コンクリート表彰式を、二月二十三日に中部森林管理局において実施しました。

このコンクリートは、治山工事及び林道工事の適正化並びに施工技術の向上、意欲の高揚を図り、併せて設計技術の向上に資することを目的に治山部門は昭和四十二年度、林道部門は昭和四十四年度から実施しています。

前年度に中部森林管理局管内で施工した、治山工事百一十一件、林道等工事四十三件を対象に施工管理全般及び安全管理について審査を行い、治山部門で十三件、林道部門で六件を優良工事として選出し、この中から、優秀工事として治山部門二件・林道部門一件を林野庁表彰に推薦し、治山部門で農林水産大臣賞を受賞、ほか二件が林野庁長官賞を受賞しました。

また、優良工事として選出した、治山



表彰状授与（木村総務部長と受賞者）



審査報告をする
飯干森林整備部長

部門の十一件、林道部門の五件と、農林水産大臣賞と林野庁長官賞を受賞した工事の現場代理人、主任技術者並びに監督職員が中部森林管理局局長賞を受賞しました。

二十三日の表彰式は、中部局管内の長野県内で施工した治山及び林道工事の受賞者に対し行われ、飯干森林整備部長が審査報告した後、木村総務部長が表彰状を授与しました。

また、富山県、岐阜県、愛知県内で工事を施工した受賞者に対する表彰伝達式は、二十七日に名古屋市内で行われ、田中次長（名古屋事務所）が表彰状を授与しました。



表彰状伝達式（2月27日：名古屋事務所）



表彰式（2月23日：局）

なお、林野庁長官賞の授与式は、局長表彰に先立ち、二月十六日東京において行われています。

各賞の受賞者は次のとおりです。

◎農林水産大臣賞

〔治山工事部門〕

◇信州林業株式会社

（長野市）

朝日山山地災害総合減災対策治山工事

（北信署）

◎林野庁長官賞

〔治山工事部門〕

◇株式会社 中島工務店

（中津川市）

西股（ガケガ沢）復旧治山工事

（東濃署）

〔林道工事部門〕

◇川瀬建設株式会社

（松本市）

黒川支線作業道新設工事

（中信署）

◎中部森林管理局局長賞

〔治山工事部門〕

◇株式会社 今井工務店

（小谷村）

大渚地すべり防止工事

（中信署）

◇大宗土建株式会社

（南木曾町）

下山沢上流復旧治山工事

（南木曾支署）

◇吉川建設株式会社

（飯田市）

園原川復旧治山工事

（伊那谷総合）

◇大協建設株式会社

（大鹿村）

平成22年度中洞地すべり防止工事

（伊那谷総合）

◇山崎建設株式会社

（飯田市）

平成22年度トチボラ沢復旧治山工事

（伊那谷総合）

◇中越興業株式会社・宮口建設株式会社

（伊那谷総合）

（南砺市）

経営建設共同企業体

（富山署）

スゴ谷下流復旧治山工事

（飛騨市）

◇株式会社 谷上組

（飛騨市）

大谷（モトメ谷上流）復旧治山工事

（飛騨署）

◇株式会社 洞口

（飛騨市）

黒内（ふくろ洞支溪）特定流域総合治山工事

◇日下部建設株式会社

（下呂市）

山之内（タナ洞）森林水環境総合整備工事

（飛騨署）

◇株式会社 加藤工務店

（中津川市）

湯舟沢（コハ清水）復旧治山工事

◇株式会社 安藤組

（東濃署）

段戸（澄川）復旧治山工事

◇株式会社 安藤組

（豊田市）

◇株式会社 安藤組

（愛知所）

〔林道工事部門〕

◇大新土木株式会社

（長野市）

中ノ沢作業道新設工事

（北信署）

◇奥田工業株式会社

（大桑村）

小川殿（川戸沢）林道新設工事

◇三留野土建株式会社

（南木曾支署）

中ノ沢林道新設工事

◇松田建設株式会社

（南木曾支署）

松尾小黒川林道（小黒川）外4改良工事

◇付知土建株式会社

（下呂市）

高時山林道（カシモ谷）改良工事

◇付知土建株式会社

（岐阜署）

高時山林道（カシモ谷）改良工事

◇付知土建株式会社

（中津川市）

高時山林道（カシモ谷）改良工事

◇付知土建株式会社

（東濃署）

〔現場代理人、主任技術者及び監督職員部門〕

◇朝日山山地災害総合減災対策治山工事
信州林業株式会社
主任技術者 清水 寿一

北信森林管理署

監督職員 中村 悟

◇西股（ガケガ沢）復旧治山工事

株式会社 中島工務店

主任技術者 河原 克也

東濃森林管理署

監督職員 田丸 清彦

◇黒川支線作業道新設工事

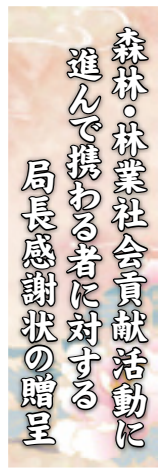
川瀬建設株式会社

現場代理人 上村健太郎

主任技術者 奥原 哲雄

中信森林管理署

監督職員 奥原 英



〔総務課〕平成二十四年三月八日、中部

森林管理局で平成二十三年中において、災害時における防災ボランティア活動や国土緑化推進等を通じた森林づくりり活動、地域の奉仕活動等における地域連携・社会貢献活動などに進んで携わって頂いた企業、団体の中で、特に顕著な功績のあった九企業及び六団体に局長から感謝状の贈呈を行いました。

また、本年度は昨年発生した東日本大震災及び長野県西部地震の災害援助として飲食料品等の提供やボランティア活動に積極的に協力いただいた三団体にも局長から感謝状を贈呈いたしました。

集中豪雨後の被害状況の確認や林道の草刈り作業、歩道の整備、環境美化活動など二十五団体及び百五十七企業から活動結果が提出され、審査の結果、局長感謝状を受賞した団体・企業は次のとおりです。



感謝状を手にする受賞者の皆さん

◇森林づくり

(社)名古屋林業土木協会

(社)名古屋林業土木協会付知支部

藤森土木建設(株)

田中建設工業(株)

(株)所組

◇防災活動

(社)名古屋林業土木協会坂下支部

長野国有林整備協会中信支部

岩佐土木(株)

(有)共和土木

(株)中島工務店

〔震災支援〕

(財)日本森林林業振興会長長野支部

(社)長野林業土木協会

名古屋造林素材生産事業協会

◇地域貢献

(社)名古屋林業土木協会愛知支部

(社)名古屋林業土木協会荘川支部

(有)愛宝産業

(有)松橋林工

岩佐土木(株)



富山市と森林行政について

意見交換

〔富山署〕去る二月十六日に富山市と森林行政の基本的方針の説明、意見交換会を開催しました。

意見交換会開催の発端は、昨年三月

「フォレストスター」制度を導入するにあたり、林野庁において関係市町村にアンケート調査を行った際、富山市から民有林の上流域を管理している国有林との意

見交換会を開催したい旨の要望があったことから、富山市本所と総合行政センター（平成十七年四月合併した旧町村単位にある出先機関）の職員が参加して行われました。

意見交換会は、まず、森林行政の基本的な方針について双方説明を行い、その後は意見交換会に移りました。

意見交換会での主な質問・意見は、
〔富山市から〕

○国有林の境界管理はどのように実施されているのか。

○カシノナガキクイムシの被災対策

○登山道整備を行う際の国有林の手続き

○NPO法人等が森林整備した場合の国の補助 など

〔国有林から〕

○カーボン・オフセットの取組状況

○環境未来構想の状況

○木質バイオオマスの状況

○捕獲した熊の放獣場所 など

といった意見が出されました。

これまで日常の業務で富山市と森林行政の調整を行うことは少なく、今回、同一地域の森林において民有林、国有林がどういった基本方針のもとに森林行政を行っているのかを知ることができ、有意義な意見交換会となりました。

最後に、富山市から国有林での事業を見学したいとの要望もあり、今後、機会を捉え情報発信を行っていきたいと考えています。

キノコ植菌体験の出前授業

「木曽森林環境保全ふれあいセンター」

春の暖かさが感じられる二月二十二日、ふれあいセンターでは福島小学校四年二組二十二名にキノコの植菌体験の出前授業をしました。

秋にはキノコ狩りを兼ねた森林散策の案内依頼を受けましたが、あいにくの不作でキノコ狩りは実現しなかったことから、育てることからやってみようかと提案して実現となりました。

作業前に、木曽森林管理署のふれあい係長からキノコの育て方の説明を受けてから原木を所定の長さに切り、ドリルで穴を開け、種駒を打つまでの一連の作業を体験しました。

中には父親が林業関係の仕事をしていることから、内容は知っている児童もいましたが、一連の作業は初めてで「疲れ



キノコの育て方を説明

た、腰が痛い」と言いながらも楽しそうにノコギリを引いていました。

穴開けは電動ドリルを使用するため職員が手を添えるなど、細心の注意を払い作業を進めました。



赤い印に合わせて穴を開けます



ナメコの種駒を打つ様子

今回はキノコの発生が早くなるようにハンノキにナメコの種駒を打ちました。多くの発生を見るのは二年目からで、今後は養生など機会ある毎に指導に当たり、継続的な取り組みをしていきたいと考えています。

シリーズ 現場最前線

「チーム庄川」安全第一でがんばっています

「飛騨署庄川班」今年度、当事務所を含めた旧庄川営林署（庄川流域）管内三森林事務所の直よう事業は、基職一名と臨時作業員二名で、各事務所の境界管理・各種調査・林道維持作業を中心に行ってきました。我が「チーム庄川」も温暖化防止対策をはじめとする事業完遂に向け、日々ミーティングをし、応援し合いながら事業がスムーズに流れるようにと安全第一で頑張っています。

平成二十二年度末、当事務所管轄の一色・山中山国有林と隣接する民有林で、民国連携して路網の整備や利用間伐を着実に推進していくことを目的に、「高山市一色・山中山地域森林整備推進協定」が締結されました。今年度から協定に基づいた事業が具体的に展開されつつありますが、当事務所でも林業専用道工事支障木の調査を滞りなく計画的にこなしていくことなど、共同施業団地化の一翼を

担う心構えで取り組みを展開しております。

庄川の山は根曲がりダケが多く、夏場の調査等現場業務は非常に厳しいところがあります。今年例年になく雪が少ないようですが、春先暖かくなる前、雪が凍みて固まったカッテコの時期にあちこち山見を行うよう計画しています。

昨年夏から秋にかけて山中山ミズバシヨウ植物群落保護林で岐阜大学安藤先生のご指導の下、高山市と地元自治会関係者の方々と合同でミスバシヨウの保全事業を実行しました。電柵を張り巡らし猪鹿の侵入防止対策を行いました。少し複雑な気持ちですが、雪解けが待ち遠しい今日この頃です。



収獲調査中の様子



黒斑山から浅間山を望む

「東信署」湯の丸・高峰高原一帯は、浅間連峰の西に位置し、黒斑山（標高二、四〇四メートル）、高峰山（標高二、一〇六メートル）、東籠ノ登山（標高二、二二七メートル）、三方ヶ峰（標高二、〇四〇メートル）、湯の丸山（標高二、一〇一メートル）、烏帽子岳（標高

四季を通じ手軽に自然を満喫

ふう けい き こう
風景紀行
湯の丸・高峰高原
 83
 東信森林管理署
 (各署の景勝地等を紹介)



高原に咲くレンゲツツジ

六月には高原一帯を国の天然記念物にも指定されているレンゲツツジの朱色が山肌を染め、ハクサンシヤクナゲなどとともに、高山植物の女王といわれるコマクサ、ツマトリソウなどの高山植物が咲

き始めます。五月には一帯でカラマツの新緑が始まるとともに、ガンコウラン、シヨウジョウバカマ、ツバメオモト等が咲きはじめます。

二、〇六六メートル)等比較的穏やかな峰々が連なっています。また、湯の丸、高峰高原の中間には、数万年前の三方ヶ峰火山の噴火により形成された火口原に広がる高層湿原である池ノ平湿原があり、さまざまな地形と、亜高山帯の気候と合わさり、花々の種類が豊富な高原地域として知られています。

その後十月までは黄金色に輝くカラマツ、赤、黄色等広葉樹の紅葉も見ごたえがあります。この地域は、駐車場等からのアクセスが比較的短く手軽にハイキング、登山とともに、春から秋にかけて、これらの花々等を楽しめることから、多くの方々を訪れています。また冬場においても、スキー場等の施設のほか、晴天率も高く澄んだ空気の中、手軽にスノーシュー等により、眼下の千曲川の流れを見渡し、北アルプスの大パノラマ、北には上信越の四阿山、草

き始めます。七月は、池ノ平湿原等の湿原地帯にアヤメの大群落が見られます。八月から九月にはヤナギラン、マツムシソウ、リンドウなどの草花が咲きはじまります。



アヤメの大群落

◆アクセス方法
 ○マイカー
 上信越自動車道小諸インターから高峰高原(車坂峠)まで三〇分程度、同じく東部湯の丸インターから湯の丸高原(地藏峠)まで三〇分程度
 ※池ノ平湿原までは、七月中旬から八月中旬までの土・日・祝日は湯の丸高原(地藏峠駐車場)、高峰高原(浅間2000パーク駐車場)それぞれからシャトルバスでの対応となります。



高峰山からの眺望

津・白根山、谷川岳、南には奥秩父・甲武信岳、八ヶ岳、遠くは富士山など三百六十度のパノラマを楽しむことができます。四季を通じ、手軽に自然を満喫ができる湯の丸・高峰高原付近を散策してみたいかがでしょうか。